

事業報告

1. 事業内容・定員

令和8年3月31日現在

利用者数総数235名(児童発達3名 放課後デイサービス22名利用を含む)

平均年齢・・・各事業所参照

平均障がい支援区分・・・各事業所参照

職員

正規職員76名(男性 41名・女性 35名)

平均年齢39.0歳(男性 40.1歳・女性 38.0歳)

平均勤続年数9.9年(男性 10.9年・女性 8.8年)

パート職員84名(男性 20名・女性 64名)

平均年齢55.6歳(男性 55.5歳・女性 55.7歳)

平均勤続年数8.1年(男性 5.9年・女性 8.7年)

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

VISION :『障害の有無を超えてお互いの顔が見えるあたたかい街づくりを実現する』

今後の法人の運営の目指すべき姿ということで、「共生社会の実現」をわかりやすい言葉にしています。今年度は、ラポール ブルーミングが「指定福祉避難所」の指定を受け、地域と行政と当法人での災害対策・災害準備品等の整備についての話し合いの機会を設け、合同訓練等も開催できたことが、大きな成果と考えます。まちづくり推進協議会の事業への積極的な参画も予定通り行いましたので、引き続き R8年度も実施して行きたいと考えます。

R6年度の「報酬改定」から物価高騰・不安定な社会情勢を意識しつつ、当該年度は利用者の方の活動環境の整備は行いつつも、リース物件等に関してはできる限りの再リース、大きな修繕に関して上半期は控える形で運営を行ってきました。

北陸への罹災施設への災害支援(人員派遣)が、6年度で打ち切りとなり派遣準備を行っていましたができずに終わりました。一方、法人内での BCP(事業継続計画)にかかる研修、訓練を中心にした災害に備える活動を計画通り実施しました。

法人内での感染症については、大きな感染拡大もなく、健康管理に関しては職員全員に対して健康診断の受診を勧め、保健師さんによる健康診断後の健康指導の推進等、健康維持にかかる啓発を行いました。

令和7年度短期的な視点と目標は、下記の通りです。

- ・災害に備えるための活動、BCPの周知 災害委員会の報告参照
- ・人財確保、定着の重視、組織力の強化 新規卒業者の採用5名。
就職後3年以内の離職者なし。
- ・ダイバーシティインクルージョンの推進（多様性の受容）模索中。法人内の身だしなみガイドラインについて、職員から意見を聴取。見直しを行った。
- ・健康増進、感染対策(研修・啓発活動推進) 感染症委員会の報告参照。健康診断の全員受診。再掲:保健師による、健康指導の推進。
- ・法人のブランディングの推進と HP、パンフレットの更新 四日市福社会等のインスタスタート
- ・SDGsへの取り組み・・・現在の4つの目標を引き続き深掘りし、目標の拡大と共有を目指す。計画内容は、文末参照のこと。各事業への展開が、薄かったように評価している。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

理事会・評議員会(R7. 6月、R7.11月、R8.3月)・・・6月理事改選。理事長再任。
入社式(R7.4.1)、フィオーレ地鎮祭(R7.8.8)ブルフェスタ(R7.11.8)
フィオーレ開所式(R8.3.27)

4. クラブ活動

事業所の活動参照

5. 職員研修

法人全体研修会(R8. 4. 16)、創立30周年記念の会として、感染症を配慮し4月に7年度分として、開催。

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

羽津地区まちづくり推進協議会の各種行事への参画、よっかいち徹夜踊りの祭典
指定福祉避難所の指定→ラポールブルーミング
福祉避難所の指定→垂坂山ブルーミングハウス
ブルフェスタにて、外部団体(羽津まち協所属団体)を招致
各事業所にて社会福祉士資格取得・教育課程等による実習生受け入れ、ボランティア受け入れ

7. 防災及び感染症対策の実績について

委員会報告参照

8. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

令和8年度開設の、「障害児通所事業所」(フィオーレ ブルーミング)、令和7年度三重県障がい児施設整備事業補助金を R7.12.26 正式に交付決定。R8. 3月竣工。

SDGsへの取り組み…持続可能な未来(開発)のためのアジェンダ⇒17の目標の選択
 国連で2000年に策定された『ミレニアム開発目標MDGs』からこれまで様々な会議・条約の
 集大成として参加型で2015年に策定されたSDGs『持続可能な開発のための目標2030ア
 ジェンダ』

[SDGs\(エス・ディー・ジーズ\)とは？ 17の目標ごとの説明、事実と数字 | 国連広報センター](#)



重要なことは、「誰一人取り残さない」ことであり、地域や国の実情・違いを考慮に入れた上で
 行う。2030年に完全実施するために休みなく取り組む。経済、社会、環境の3つの側面をもつ
 ものである。

この取組は、世界レベル・国家レベルの取り組みから、民間企業・地方自治体・個人など全ての
 ステークホルダー、構成組織が積極的に参加し活動を促進する必要がある。そして人々を中心
 に据えたアジェンダであり、誰一人取り残さない、人々の人々による人々のためのアジェンダ
 であり、結論『人類と地球の未来は我々の手の中にある』という言葉でまとめられている。

当法人では引き続き、4つの目標について、取り組みたいと考えています。

目標1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。

生活困窮者支援、人生のあらゆるステージにおける障害のある人、社会的弱者と呼ばれる
 人たちの少しでも力になれるような活動を行う。

中間的就労と定着支援、パン de サークルの再開、継続、子ども食堂への参画

目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

当法人の障害福祉サービスが、あらゆるライフステージ(年齢等)におけるサービスを必要と
 する人へより高い質を確保し提供できるように努める。

(フォーマル、インフォーマルにかかわらず)

各事業所によるサービス提供の質の向上(第三者評価の継続的な受審、研修受講、企画)

地域におけるニーズの掘り起こし(まちづくり推進協議会障害者福祉部会への参画)

所属する上部団体への積極的な関与、参画(日本知的障害者福祉協会、全国社会福祉経営者協議会)

目標8. 包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセントワーク～decent work)

職員の安心できる職場環境の構築(法人の人材育成から職場風土の醸成、災害対策・耐震対策)

地域との連携(羽津まちづくり推進協議会への参画～防災会議、障害、文化健康・総務委員会他 四日市徹夜踊り、共同防災訓練、マルシェ、餅つき、子供食堂ほか)

各種法令を遵守し、働く職員が安心できる法人の安定経営の継続
実習生・ボランティア等の積極的な受入れ

目標11. 包摂的で安全かつ回復力があり、持続可能な都市及び人間居住を実現する。(地域づくり)

希望する誰もが安心して暮らせる、地域づくり、まちづくり。一人ひとりの暮らしを、災害、困難なこと、差別、犯罪、あらゆる側面から考え、サポートできるかを考え、実行していく。

事業報告

1. 事業内容・定員

令和8年3月31日現在

利用者数総数 49 名

平均年齢 未算出

平均障がい支援区分 未算出

事業別利用実績

垂坂(男性 24 名・女性7名)ラポール(男性 9 名・女性 4 名)ブランチ(男性1名)

年間延べ利用日数 未算出

作業収入 該当なし

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

基本方針

「健康寿命の延伸に努める」

- ・法人利用者に対するリハビリ活動を継続、発展に努める。
- ・支援員等他職種と協働し、身体・生活機能の維持・向上に努める。

「リハビリ活動を行う知的障害者施設としてのモデルケースを目指す」

- ・リハビリ活動内容やデータを取りまとめて、研修会等々にて報告する。

総括

- ・募集はかけているもののリハビリ専門職(正規またはパート)の採用には至らず、現状の PT1名とリハ専属のパート職員1名の体制を継続しています。
- ・リハ加算取得のための書類作成の方法を見直し、R8年度は随時更新していけるように体制を整えました。
- ・垂坂、ラポール、つうきんを中心に状態変化が生じた利用者について、現場職員と連携し、環境整備や支援方法についての相談ができました。
- ・ブルフェスタでの健康サポートコーナーを開催することができました。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

・該当なし

4. クラブ活動

・該当なし

5. 職員研修

・PTとして専門職研修には2回/年

・感染対策研修(外部)1回/年

・災害対策研修(外部)2回/年

そのほか垂坂内の研修および委員会活動に関する研修に参加しました。

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

・R8年1月 四日市農芸高校 生徒3名の実習受け入れ

7. 防災及び感染症対策の実績について

・垂坂入所施設に準じる

8. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

・特に無し

令和7年度 給食部 事業報告

1. 事業内容・定員

垂坂山ブルーミングハウス、通勤寮、GH、かすみヶ浦ブルーミングハウス、ブランチスプリング、ラポール利用者への食事提供及び垂坂山ブルーミングハウス入所者への栄養ケアマネジメント実施

年間食数:103,712 食

2. 基本方針と総括

<基本方針>

厨房職員全員が食事提供者としての自覚をもち、安心・安全な食事提供のために衛生管理の徹底について努める。また、個人の身体機能に合わせた食べやすくおいしい食事の提供を目指し、利用者の健康増進を支援する。互いにあいさつする。

<総括>

令和6年度正規職員が産休と退職により、2名減り、さらに令和7年度は、パート職員1名が退職となったが完全調理品などの活用で行事食や特別食の頻度を減らすことなく提供することができた。また、支援員や看護師と相談し、食事介助の負担を軽減する提案を行うなど柔軟に対応した。

令和6年度の課題であった非常食のパート職員への周知については、パート職員が毎月交代で非常食の在庫確認を行うことで周知できており、今後も継続する。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

行事食・特別食のポスターを27回掲示

4. クラブ活動

なし

5. 職員研修

感染対応を含む衛生管理・災害対策・虐待防止の研修を年9回実施(全員参加)

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

羽津子供食堂「&ゆう」 年間のべ20名参加

7. 防災及び感染症対策の実績について

垂坂合同防災訓練を R7.11 月実施

非常食訓練を 2 回実施

① R7.9 月夕食:垂坂、通勤、GH

② R8.2 月昼食:かすみ、ブランチ、ラポール、垂坂

事業報告

1. 委員会の事業内容、構成員の人数等

令和8年3月31日現在

ワーキンググループ 4 名（委員長 1 名 統括 1 名 主任 2 名）
各事業所より 1 名ずつ

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

【虐待防止・身体拘束適正化委員会活動目的】

- ・虐待防止・身体拘束廃止に向けた指針確認・研修等（事例・小さな出来事を通し）を行い、自分たちの支援を見直すきっかけをつくる。
- ・事例をとおり「虐待」だけに目がいくのではなく、「虐待」が行われた「背景」や「理由」にも意識し、全体を見回した「虐待防止」に取り組めるようになる。

（令和 7 年度通報件数：3 件 利用者への発言 ・ 利用者への経済的虐待では？

利用者の前での職員の行動

3 件のうち 1 件は利用者からの訴えであるが、確認できていない部分もあり、利用者もお休みされており、フォローはできていなかった。2 件は管理者の起こした行動が「虐待かも？」ということで、市役所に相談を行っている。これらについては保護者、職員にも説明し、行動の再確認を行う）

- ・やむを得ず身体拘束をさせてもらっている利用者の拘束の見直し・検討。やむを得ず身体拘束を行うときの同意書・記録・会議の統一を図る。

（毎回会議ごとに身体拘束？と思われる支援について挙げてもらい、対応・今後の対応等も挙げている。身体拘束を行う利用者については同意書、記録、会議を行い、会議でも報告を行う。各事業所、利用者の行為を制止する際、やむを得ず止めさせてもらう場面もあり、今後、同意書・記録等の周知は引き続き行っていく）

- ・定期的に第三者委員にも活動内容を報告し、活動内容の確認、意見等をもらい、更なる発展につなげていく。

（報告件数：3 件 第三者委員でもある山本氏にお伝えし、コメントをいただく。

3. 年間委員会の活動(会議の頻度・回数、取り組んだ事業)実績

年 4 回 開催

6 月:虐待防止・身体拘束適正化 指針説明 身体拘束対応等の検討

9 月:TOIN アーチ 山本氏による「実際に虐待認定された事例を通して」
研修・グループワーク

12 月:ロールプレー(言葉かけ・車いす介助・食事介助の場면을委員の方
で実際再現し、グループワーク 身体拘束対応等の検討

3 月:子ども性犯罪防止について・虐待防止研修 伝達
身体拘束対応等の検討

4. 委員会独自の特記事項があればこちらに記載

・通報件数:3 件 利用者への発言 1 件

利用者への経済的虐待? 1 件

利用者の前での職員の行動 1 件

・外部研修:9月 TOIN アーチの山本氏による虐待防止研修

実際に虐待認定された事例をもとに委員会で検討

事業報告

1. 委員会の事業内容、構成員の人数等

令和8年3月31日現在

事業内容:感染症委員会の運営及び法人感染症対策の推進

構成員:委員長1名、事務局1名、委員8名

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

【新興感染症対応に向けた感染症研修の充実化】

【感染対策マニュアル、新興感染症 BCP の見直し】

感染症研修については、羽津医療センターと連携をとり、羽津医療センター主催の地域感染症対策連絡会に法人代表者が参画し、感染症 WG で情報共有し、委員会に伝達した。

さらに、羽津医療センター感染症認定看護師に来所していただき、委員にたいして感染症研修を実施し、各事業所から全職員へ伝達講習を実施した。

しかし、BCP の見直しについては、世間一般的な感染症対策の変化に合わせたマニュアルの修正にとどまる。

3. 年間委員会の活動(会議の頻度・回数、取り組んだ事業)実績

年間4回委員会を実施。その委員会のうち1回にて認定看護師による研修を実施。

4. 委員会独自の特記事項があればこちらに記載

認定看護師による研修の計画、実施。

事業報告

1. 委員会の事業内容、構成員の人数等

令和8年3月31日現在

事業内容:安全衛生委員会の運営

構成員:産業医 1 名、委員長1名、事務局1名、委員2名

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

【委員会活動の実施】

多職種での意見交換および有識者からの助言を得る機会を設けたうえで、法人内の安全衛生に関わる事項について取り組みを行う。

産業医と共に、各事業所を視察し、職員ならびに利用者の安全衛生に関わる、危険予知に関するディスカッションと産業医によるスーパーバイズを受けた。

3. 年間委員会の活動(会議の頻度・回数、取り組んだ事業)実績

毎月1回、産業医との委員会を実施。

休職者、短時間勤務者のメンタルヘルスについて適宜相談・報告を実施。

4. 委員会独自の特記事項があればこちらに記載

事業報告

1. 委員会の事業内容、構成員の人数等

令和8年3月31日現在

事業内容:災害対策委員会の運営

構成員:委員長1名、事務局1名、委員8名

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

1. 基本方針

【法令に則った災害訓練の徹底】

特定防火対象物である事業所としての避難訓練の実施の見直し。

非常災害対策計画、消防計画、避難確保計画➡防災計画の見直し。

【総括】

年間4回の災害対策委員会を実施。

非常災害対策計画、避難確保計画を全事業所で作成を勧め、年間の防災計画の立案を次年度に向けて実施しやすいよう、フォーマットの整備を行った。

結果として、消防計画を除く、防災計画は整備されており、消防計画については、各事業所の更新を各管理者と協力して再度見直しを行うことを次年度の課題とした。

3. 年間委員会の活動(会議の頻度・回数、取り組んだ事業)実績

委員会を年4回実施し、各事業所において、災害委員にて、研修計画を立案、実施。

法定訓練および、防災計画の立案を徹底した。

4. 委員会独自の特記事項があればこちらに記載

3月には指定福祉避難所実施訓練を、四日市市障害福祉課、危機管理課、四日市市社会福祉協議会、羽津自治連合会と共同の上で実施。現状の四日市市における災害対策における避難所運営の課題共有を行った。

令和7年度 垂坂山ブルーミングハウス

事業報告

1. 事業内容・定員

令和8年3月31日現在

利用者数総数(男性28名・女性9名)

平均年齢 50歳

平均障がい支援区分 5.7

事業別利用実績

R7 年間延べ利用日数(生活介護10,509日 施設入所支援13,737日 短期入所762日)

R7 稼働率(生活介護97.8%、施設入所支援94.1%、短期入所52.2%)

R8年度目標(生活介護 98%、施設入所支援95.5%、短期入所50%)

作業収入

	タイセイアクト(7年～)	自主製品
令和7年度	400,132円	29,050 円
令和6年度		28,250円

2. 基本方針と総括

基本方針:QOL の向上を目指す 当事者意識をもつ

強度行動障害支援については、外部施設見学や自立課題の作成に注力した。また、豊田市社会福祉事業団の倉嶋氏を招き、定期的に支援相談を実施することで、支援の質の向上に努めた。日中活動に関しては、新たに作業班を編成し、シュレッダー作業や缶つぶし作業等の活動を開始した。利用者一人ひとりの特性に応じた役割づくりや作業機会の提供につながった。さらに、令和元年以来となる第三者評価を3月に受審し、全体として比較的良好な評価を得ることができた。利用者状況としては、2名の方がご逝去される一方、新たに2名の利用者を迎え入れた。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

別紙参照

4. クラブ活動

マラソン活動(年10回)、編み物教室(年12回)

5. 職員研修

・内部研修

人権研修2回、介護技術、良い支援をしよう検討会、苦情解決、虐待身体拘束研修4回、強度行動障害2回(冰山モデルシート作成法等)、BCP 研修、AED 研修

・外部研修

別紙参照

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

地域活動:地域清掃(年1回)、額づき山イベント等

実習生:農芸高校等

7. 防災及び感染症対策の実績について

防災:伝言訓練、消火避難訓練(夜間想定)、避難訓練、災害時対策研修

消防訓練に消防署職員を招いて実施し、実践的かつ具体的な助言を受けることができた。今後の防災体制強化につながる有意義な訓練となった。

感染症対策:感染症対策委員からの各月報告、対策研修(3回【嘔吐物研修含む】)

日程	行事名	実績	備考
4月	自治会交流会	今年度役員決め	4月21日
	サークル	散歩	4月14日
	サークル	カラオケ	4月29日
	コンサート垂坂全員	音楽家 松尾貴臣コンサート施設にて	4月30日
5月	自治会交流会	話し合い、行事決め	5月17日
	サークル	運動(散歩)	5月10日
	サークル	DVD鑑賞	5月24日
	マラソン部練習会	活動時間13:00～17:00	5月17日
	グループ別外出 4人	南知多ビーチランド	5月13日
	グループ別外出 4人	東山動物園	5月20日
6月	グループ別外出 4人	買い物	5月27日
	自治会交流会	敬文さんのお別れ会	6月23日
	サークル	カラオケ	6月7日
	サークル	七夕飾り	6月30日
	マラソン部練習会	活動時間13:00～17:00	6月15日
	グループ別外出 3人	南知多ビーチランド	6月9日
7月	グループ別外出 3人	四日市ポートビル	6月10日
	グループ別外出 3人	近鉄(河芸アリーナ)	6月16日
	グループ別外出 1人	南部丘陵公園	6月17日
	自治会交流会	ご利用者希望行事聞き取り	7月14日
	サークル	壁新聞作り(春)	7月12日
	サークル	音楽・楽器演奏	7月28日
8月	スポレク代替行事	玉入れ、ボーリング、的当て	7月30日
	マラソン部練習会	活動時間13:00～17:00	7月6日
	グループ別外出 3人	相撲名古屋場所	7月16日
	ラポールマルシェ 13名	キーホルダ作りやバザー等	7月19日
	自治会交流会	カラオケ	8月16日
	サークル	DVD鑑賞	8月2日
9月	サークル	運動(体操)	8月30日
	マラソン部練習会	活動時間13:00～17:00	8月16日
	夏祭り	射的、スイカ割り、フランクフルト、神輿担ぎ、チョコバナナ	8月29日
	自治会交流会	散歩	9月23日
	サークル	DVD鑑賞	9月6日
	サークル	壁新聞作り(夏)	9月29日
10月	マラソン部練習会	活動時間13:00～17:00	9月13日
	花火大会	かき氷と花火	9月19日
	自治会交流会	ハロウィの飾りを作り	10月18日
	サークル	カラオケ	10月6日
	サークル	ハロウィン飾りつけ	10月27日
	マラソン部練習会	活動時間13:00～17:00 雨の為中止	10月4日
11月	グループ食事会 3人	コロナ増加の為、テイクアウト	10月7日
	グループ別外出 3人	ドライブ	10月29日
	バス旅行 16人(重度)	①長島ビール園②なばなの里(ペコニアガーデン)	10月21日
	ハロウィン	ハロウィンパーティー	10月28日
	自治会交流会	カラオケ	11月3日
	サークル	音楽・楽器演奏	11月15日
12月	サークル	散歩	11月24日
	マラソン部練習会	活動時間13:00～17:00	11月16日
	バス旅行 20人(軽度)	デンパーク	11月5日
	おやつ作り	ホットケーキにオリジナルトッピング	11月21日
	グループ別外出 3人	ドライブ、食事	11月10日
	グループ別外出 2人	ドライブ、食事	11月11日
12月	自治会交流会	クリスマス飾りつけ	12月13日
	サークル	カラオケ	12月6日
	サークル	壁新聞作り(秋)	12月20日
	マラソン部練習会	活動時間13:00～17:00	12月13日
12月	クリスマス会	ビンゴ大会	12月23日

1月	自治会交流会 サークル サークル マラソン部練習会 初詣	カラオケ 書初め DVD鑑賞 活動時間13:00～17:00 近くの神社に初詣に行く 行きたい方のみ30人	1月17日 1月10日 1月31日 1月17日 1月1日2日
2月	自治会交流会 サークル マラソン部練習会 ブルーミングハウス30周年	散歩 卓球 活動時間13:00～17:00 パーティー、ケーキや飲み物、くじ引き	2月23日 2月11日 2月14日 2月26日
3月	自治会交流会 サークル サークル マラソン部練習会 花見	来年度役員選出 カラオケ 壁新聞作り(冬) 活動時間13:00～17:00 垂坂公園	3月30日 3月7日 3月14日 3月14日 3月31日

事業計画 外出・余暇

- ・ 日帰り旅行を実現できるか検討する。
- ・ ブルフェスタを開催するか検討する。
- ・ グループ別外出を実施する か検討する。

まとめ

- ・ 5年ぶりに日帰り旅行に行きました。なばなの里(重度)11月、デンパーク12月(軽度)
- ・ ブルフェスタを開催しました。11月
- ・ グループ別外出を1人1回 施しました。5月、6月、7月、10月、11月

芸術作品

- ・ 津市で開催、遠方の為職員で作品を搬入出しました。 12月
- ・ 津市で開催、遠方の為職員で作品を搬入出しました。 3月

スポレク代替

- ・ 施設内にて玉入れ、小一時間、的当てを実施しました。7月

おやつ作り

令和7年度 職員研修実施記録 (外部)

日にち	研修内容	参加者
4/9	ビジネスマナー研修	
6/4	若手社員育成のコツと具体的指導法	
6/16～18	応急手当普及員講習	
6/25～26	三重県相談支援従事者初任者研修（サビ管コース）	
7/4	コミュニケーションギャップセミナー	
7/6	FUKUSHImeets！インターンシップフェア	
7/14	三知協新任職員研修会	
7/15	サビ官、児発管基礎研修	
7/23～24	キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース	
8/5	強度行動障害支援者養成研修 基礎課程	
8/5～6	強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践	
8/26	強度行動障害支援者養成研修 基礎課程	
9/3～4	強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践	
9/10	新入社員フォローアップ研修	
9/26	ビジネストーク力アップセミナー	
9/26	障害のある人の意思決定支援を推進するための実践研修会	
10/1～2	東海地区知的障害関係施設職員等研究協議会	
10/17	逆境に強い部下を育てる方法	
10/20～22	応急手当普及員講習	
10/22	三重県障害者虐待防止・権利擁護研修（共通）	
10/23	応急手当普及員講習	
11/4	企業のためのインターンシップ勉強会	
11/15	いなば園 見学	
12/2～3	特別養護老人ホームさくらスマイル介護研修	
12/4～5	福祉職員キャリアパス 生涯研修	
12/5	アサーティブコミュニケーションセミナー	
12/8	その人らしさを大切に、良い支援を考えよう	
12/10	八野生活介護センターデイルーム見学	
12/17～18	障害者支援施設部会全国大会 東海地区	
1/10～1/14	社会福祉施設長資格認定講習	
1/24	おしごと広場みえ 合同企業説明会	
1/29	令和7年度第3回利用者交流等事業委員会	
2/4	アンガーマネジメントと自己肯定感セミナー	
2/6	いなば園 見学	
2/6	令和7年度三知協障害者虐待防止等研修会	
2/16～18	応急手当普及員講習	
2/27	FUKUSHImeets名古屋フェア	
2/27	あさけ学園 見学	
3/3	いなば園 見学	
3/3	FUKUSHImeets大阪フェア	
3/5	全国部会・スタッフ協議会	

事業報告

1. 事業内容・定員

令和8年3月31日現在

【G&C ホームブルーミング】 定員56名(内、4部屋は体験)

利用者数総数(男性 38名・女性 7名 計 45名)

平均年齢 52歳

平均障がい支援区分 4.7

事業別利用実績(年間延べ利用人数 16,184人)

稼働率 79.2% 令和8年度目標 83%

【G&Cホームつうきん】

利用者数総数(男性 10名・女性 9名 計 19名)

平均年齢 56歳

平均障がい支援区分 4.8

事業別利用実績(年間延べ利用人数 6,723人)

稼働率 92.1% 令和8年度目標 95%

[短期入所]

事業別利用実績(年間延べ人数 675人)

稼働率 61.6% 令和8年度目標 65%

2. 基本方針と総括

(基本方針:笑顔のあるホームをつくろう・みんなの夢をかなえよう・人生を楽しもう)

利用者さんが主体的に行事やクラブ活動に楽しく参加できるよう、利用者自治会の開催や満足度調査(前期、後期実施)を実施した。高齢化や健康面に課題のある利用者さんも増加しており、活動量や個々のペースに入所しながら活動内容を検討した。今年度、介護保険施設への移行が2名、怪我による身体状況の変化に伴う他施設への移行が1名、逝去が1名あり、計4名が退所となった。

新規利用者が1名あったものの定員は充足していないため、体験利用も含め、利用者確保に向けて相談支援機関等の関係機関への連絡、訪問を継続していく。休日の支援体制については、出勤者を配置することで、健康管理や食事の見守り等の体制を整備。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

ボーリング大会 5月、夏祭り 7月、日帰り旅行 10月、クリスマス会 12月

年末年始行事(初詣、お正月の遊び) 1月

デリバリー(毎月1回)、誕生日外出(各ホーム年3回)

4. クラブ活動

マラソン部 8名、犬のおやつクラブ 12名 (1回/月)

室内ゲーム 7名、スポーツ 8名、音楽クラブ 10名 (1回/3ヶ月)

5. 職員研修

○内部研修

感染対策、災害対策、虐待防止、権利擁護、薬の研修(アイセイ薬局)

交通安全講習(四日市北警察)、第三者評価自己評価(前期、後期)

施設見学(グループホーム:聖母の家 介護保険:さくらスマイル)

○外部研修

新人職員研修会、職員交流研修会 [三重県知的障害者福祉協会]

福祉職員生涯研修課程(中堅職員) [三重県社会福祉協議会]

強度行動障害支援者養成 オンライン研修(基礎、実践)

救急法基礎講習 [日本赤十字社]

感染対応力向上研修会 [三重県看護協会]

東海地区知的障害関係施設職員等研究協議会

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

○社会福祉士実習(60時間実習) 同志社大学 2名

日本福祉大学中央福祉専門学校 1名

7. 防災及び感染症対策の実績について

○避難訓練(2回/年) 避難場所までの経路確認、水消火器訓練を実施

○12月に利用者さん1名がインフルエンザに罹患した。感染対応マニュアルに基づき、ホーム内で感染対応を実施、他利用者さんへの感染拡大はなかった

○防災、感染対策について、各委員からの伝達研修

8. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

○地域連携推進会議の開催 3/10(火)

・G&C ホームブルーミング・つうきん 事業所見学

・次年度の事業計画、現状や課題の共有、活動内容の紹介等

・参加者(ご利用者、ご家族、地域住民、行政関係者)との意見交換を行った

令和7年度 かすみヶ浦ブルーミングハウス

事業報告

1. 事業内容・定員

令和 8 年3月31日現在

利用者数総数:25 名 (男性 17 名 女性 8 名)

平均年齢: 45.2 歳 男性(50.3 歳) 女性(40.1 歳)

平均障がい支援区分:5.0

事業別利用実績

年間延べ利用日数=5625

稼働率=全体:71.3% *就労継続 B 型:69.6% 生活介護:73.0%

令和 8 年目標=75%

作業工賃売上・平均工賃実績

	ワニス作業	箱作業	東洋	ポスティング	計	平均工賃	
						就労継続 B 型	生活介護
令和 7 年度	6,408,186	1,117,284	171,070	44,657	7,741,197	19,606	18,112
令和 6 年度	4,953,153	1,193,375	68,550	64,021	6,279,099	21,361	18,456
差	1,455,033	-76,091	102,520	-19,364	1,462,098	-1,755	-344

2. 基本方針と総括(方針:親切・丁寧な支援の実現に向け、全員で高い意識を持つ)

前年度末から年度前半にかけて、退職と産休が重なり、深刻な職員不足の状況となったが、事業全体のスリム化および効率化を図ることで対応することができた。研修については虐待研修や事例検討、ヒヤリハット、業務改善について時間をかけて議論を行い、事故・トラブルの未然防止に努めて、利用者さんがより安心して利用できる環境づくりに注力した。課題となっている欠員については現在 5 名の空きがあるため、次年度も引き続き利用者確保および稼働率の向上に努める。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

音楽を楽しむ会(8 月) お食事会(9 月) モルック大会(10 月) パンカフェ利用(令和 8 年 1 月)

ボウリング大会(令和 8 年 2 月) お食事会(令和 8 年 3 月)

*土曜開所日(2 回/月 午前:作業/午後:レクリエーション)

4. クラブ活動:実績なし

5. 職員研修

外部研修:虐待防止研修、強度行動障害研修(実践)

法人内研修(強度行動障害)

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績:放課後デイサービス児童作業体験受入れを実施

7. 防災及び感染症対策の実績について

法人各委員会により伝達研修、消火避難訓練(2 回/年) 避難確保計画【高潮想定訓練】(1回/年)

令和7年度 ブランチスプリング

事業報告

1. 事業内容・定員(令和8年3月31日現在)

サービス:生活介護、就労継続支援 B 型

利用者数総数:35名(男性 27名 ・女性 8名)

平均年齢 44.5歳

平均障がい支援区分 3.7(生活介護:4.5、B 型2.9)

事業別利用実績

生活介護:

年間延べ利用日数(A):4,060 日

稼働率:4,060(A)／20(定員)×264(年間稼働日数)×100) =76.9%

就労継続支援 B 型:

年間延べ利用日数(A):3,806 日

稼働率:3,806(A)／20(定員)×264(年間稼働日数)×100) =72.1%

作業収入(生活介護、就労継続支援 B 型計)

令和7年度分

レンタカー洗 車、オゾン消臭	トランス組立	紙管作業	ダンボール 仕切組立	カレンダー組、 チラシ折込	自主製品 (縫い物)	パン工房	合計
1,059,500	5,837,213	2,507,241	1,086,352	165,110	12,100	26,459,590	37,127,106

令和6年度分

レンタカー洗 車、オゾン消臭	トランス組立	紙管作業	ダンボール 仕切組立	ヤマト DM 便	カレンダー組、 チラシ折込	自主製品 (縫い物)	パン工房	合計
1,163,500	5,080,323	2,704,680	1,423,309		168,740	21,600	25,850,265	36,412,417

2. 基本方針と総括

基本方針

- ・誰にとっても安心して過ごすことができる環境作りを目指す
- ・個々に合った日中の過ごし方を模索し、新たな活動を生み出していく

総括

都度、作業場配置など環境調整を行ってきた。日中活動については、現状の作業中心の活動を継続する形となり、新たな活動を行うことはできなかった。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

令和8年3月18日に日帰り旅行を実施。行先は「名古屋港水族館」

4. 職員研修

虐待防止研修、感染対策研修等

5. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

西日野にじ学園現場実習受け入れ(2名)、山手中学校社会体験実習(2名)

6. 防災及び感染症対策の実績について

防災訓練(2回)、感染対策研修(年4回)

7. その他

令和8年2月25日みえ第三者評価受審

以上

事業報告

1. 事業内容・定員

令和8年3月31日現在

利用者数総数:6名(男性4名・女性2名)

平均年齢:42.5歳(男性:59.0歳 女性:24.9歳)

平均障がい支援区分:4.6

事業別利用実績

年間延べ利用日数:1279

稼働率=30.2%(就労継続B型:34.8% 生活介護:27.3%)

阿倉川 SS 作業売上実績

	燃料油(KL)	灯油配達(KL)	洗車(円)	カフェ(円)	来店者数(人)
令和7年	496	13.7	2,024,023	6,266,119	24,505
令和6年	537	17.2	2,176,789	6,481,562	27,028
差	-41	-3.5	-152,766	-215,443	-2,523

2. 基本方針と総括【支援力・営業力を磨き、魅力ある商品を消費者へ】

総括:前年度と比較して職員数が減少しSS運営および利用者対応において業務負担が増加した。その結果、職員研修、営業活動、新規作業へ展開および新商品の開発に十分な対応が困難な状況であった。また、軽減税率制度の変更に伴う需要動向の変化や原油価格の高騰など外部環境の影響もあり、各種実績は前年度比で減少となった。

一方で、支援体制の維持に向け、職員会議を実施し、利用者対応、虐待事例検討、ヒヤリハット、店舗運営上の課題等について継続的に情報共有を行った。

今後の課題としては、人材確保に加え、既存の職員の教育・育成の強化が必要である。次年度は、課題の共有および職場環境の改善を進めるとともに、営業活動の再強化により利用者確保と売上回復を図る。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

ボウリング大会(令和8年2月) 日帰り旅行(令和8年3月:おやつタウン)

土曜開所(月1回程度)

4. クラブ活動:実績なし

5. 職員研修

保安講習(3名)、出光関係、虐待防止研修

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

山手中学校体験学習、聖母の家学園生徒体験(カフェ)

7. 防災及び感染症対策の実績について

各法人委員による伝達研修、出光BCP訓練、災害時対応実施訓練(三重県石油組合主催)

令和7年度 ラポール ブルーミング(生活介護事業所)事業報告

1. 事業内容・定員

令和8年3月31日現在 30名

利用者数総数(男性 21名・女性 9名)

平均年齢 52歳

平均障がい支援区分 5

事業別利用実績 平均利用者数 26.1人/月

年間延べ利用日数 264日

稼働率 87.4%

取引先別の収入額

重度化・高齢化のため、作業に取り組める利用者さんは減少傾向。そのため外部委託の縮小化を図り、効率的に行える作業ヘシフトチェンジしているため作業収入は減少している。

店頭やイベント等での販売は実績を上げている。

令和7年度

タイエイクト	オークテック	垂坂公園清掃	内職sun	四日市印刷	S-QREST	犬のおやつ	みたき総合病院	店頭・販売	合 計
663,889	105,270	1,086,640	189,630	203,566	72,715	13,600	227,500	435,693	2,998,503

令和6年度

タイエイクト	オークテック	垂坂公園清掃	内職sun	四日市印刷	S-QREST	犬のおやつ	みたき総合病院	店頭・販売	合 計
802,713	104,040	1,034,000	132,570	180,745	114,480	24,050	325,000	415,840	3,133,438

令和5年度分

タイエイクト	オークテック	垂坂公園清掃	内職sun	四日市印刷	S-QREST	犬のおやつ	みたき総合病院	店頭・販売	合 計
1,386,822	73,920	743,400	141,650	101,630	126,315	0	235,300	110,668	2,919,705

2. 基本方針と総括

○ラポールを取り巻く環境を活用し、利用者とともに楽しめる「ラポールの売り」を見つけ、みんなで取り組んでいこう！という職員のパワーを源として、自主製品開発と販売をスタート。軌道に乗せるまでには至っていないため、8年度は更に整備していく。

○定員も埋まり、日中一時利用者も多く受け入れ、土曜日の利用者はかなり増加している。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

4月	花見・ミニ屋台・たけのこ掘り	10月	モルック大会・サウデしでがの感謝祭
5月	クッキー作り・アングレスカイ作り	11月	ハンバーガー作り・運動会
6月	水ようかん・マフィン作り・ジャガイロ掘り	12月	Xmasデコ・クリスマス会
7月	バスボム作り・マルシェ	1月	初詣・お正月遊び・麩ぜんざい
8月	マーブリング・花火大会・モルック	2月	ピニャータ作り・豆まき
9月	アイスクリーム作り・秋祭り	3月	ホワイトデー・額突山まつり

4. クラブ活動

モルック練習(10月モルック大会参加)
手話練習(11月羽津地区文化祭で発表)
コーラス練習(額突山まつりにて発表)

5. 職員研修

以下以外に、虐待防止への取り組みとして「良い支援をしよう」研修を毎月実施

4月	虐待防止・身体拘束廃止への取組・事業計画	10月	事業計画達成度振り返り
5月	介護予防研修	11月	避難訓練 意思決定支援研修
6月	第三者評価についての研修	12月	苦情解決研修
7月	事業報告・決算報告	1月	虐待防止・身体拘束廃止についての研修
8月	人権研修	2月	次年度事業計画・今年度振り返り
9月	第三者評価振り返り AED・救急対応	3月	第三者評価振り返り 避難訓練

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

○地域活動実績

たけのこ掘り・羽津地区盆踊り・聖母の家祭り・よんてつ・羽津地区秋祭り・清和苑祭り
羽津地区文化祭・羽津ふれあいバス旅行・羽津地区もちつき大会・額突山緑地祭り

○ボランティア受け入れ実績

物品販売員として一般企業より(1名)

○中間的就労受け入れ実績

北星高校より(1名)

○実習生受け入れ実績

羽津中学校より(3名) 富洲原中学校(2名) 西日野にじ学園より(4名) 聖母の家学園(1名)
高校生インターンシップ(3名) 介護等体験受入(2名) 新採用研修(3人)

7. 防災及び感染症対策の実績について

○防災対策実績

指定福祉避難所設置に向けての取り組み(BCP 訓練含む)
避難訓練(2回)・炊き出し訓練(3回)

○感染症防止対策

全体研修(1回)・感染対策委員より伝達研修(1回)

8. 事業所独自の特記事項

- ・ラポール全員で取り組める活動として、モルック大会、花火大会、コーラスの披露は恒例となっている。今年度は前期と後期にマルシェを開催。また、他事業所のイベントにも参加し、販売活動を行った。
- ・利用者の趣味や特技を活かした取り組みとして、ラポール玄関にて、物品販売(ビーズ作品・編み物・キーホルダー・アクセサリなど)をし、売上を本人に工賃として支給している。地域の文化祭にも出展し、高評価を受けている。
- ・地域の方々、他県からの見学者も年間を通して広く受け入れた。
- ・農耕作業で得た収穫物は利用者が販売活動をし、収穫祭にて全員でいただき、また、利用者が販売を行った。

事業報告

1. 事業内容・定員

(令和8年3月31日 現在)

	請求件数		相談件数	
		前年比		前年比
指定特定・障害児相談支援	569 件	106%	2759 件	113%
指定地域移行・地域定着支援	16 件	106%	-	-
障害者相談支援	-	-	2410 件	106%
基幹相談支援	-	-	-	-
障害支援区分認定調査	106 件	91%	-	-

2. 基本方針と総括

「基幹相談支援事業」および「障害者相談支援事業」を中心に事業を実施してきた。「基幹相談支援事業」では、四日市圏域自立支援協議会において、地域課題である相談支援事業の充足や相談支援専門員のスキルアップに向けた取り組みを実施した。「障害者相談支援事業」については、8050 問題や障害福祉サービスにはつながりにくいケースへの対応など行った。指定相談支援事業も含め、相談件数は微増となっている。事業所独自で作成している基本方針や行動指針に基づき、各研修への参加、研修企画などの人材育成、法人内外の委員会にも参加した。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

該当なし

4. クラブ活動

該当なし

5. 職員研修

【参加】

- <相談支援> 相談支援従事者支援者養成研修、四日市市重層的相談支援研修会、医療的ケアを要する重症児・者の地域ネットワーク連携研修会
- <制度理解> 就労選択支援事業について、居住支援法人に関する研修会
- <その他> ファシリテーター研修、地域システム作りに関する研修、三重県虐待防止・権利擁護研修、三知協虐待防止研修、NSK 東海北陸ブロック研修会、自閉症理解に関する研修

【講師派遣、運営等】

- <相談支援> 県相談支援従事者初任者研修、県相談支援従事者現任研修

＜医療的ケア児者＞医療的ケア児者コーディネーターフォローアップ研修、医療的ケア児者養成研修、医療的ケア児者スーパーバイズ機能推進研修会

＜その他＞四日市圏域虐待防止研修会、西日野にじ学園中学部保護者進路学習会、西日野にじ学園教職員向け研修、

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

【ボランティア】羽津地区盆踊り大会、羽津地区文化祭、羽津地区餅つき、
よんてつ

7. 防災及び感染症対策の実績について

【防災】

法人災害委員会参加(4回)、事業所避難訓練(2回)、伝達訓練(1回)

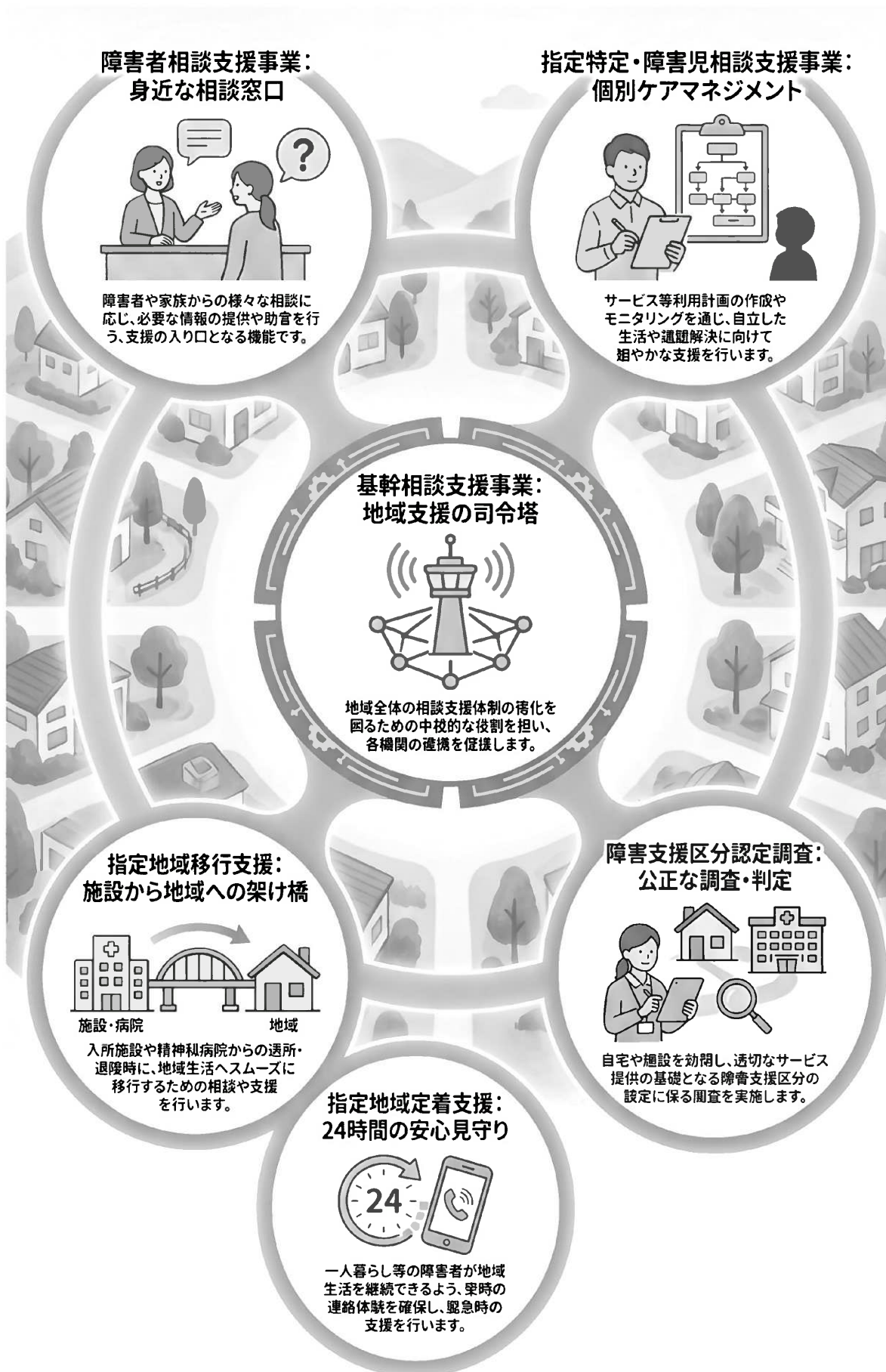
【感染症対策】

法人感染対策委員会(事務局)、法人委員会の開催(4回)、事業所内研修(2回)

8. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

障害者相談支援体制の全体像

～地域で支えるネットワーク～



令和7年度

ブルーミング・コフレ

事業報告

1. 事業内容・定員 児童発達支援・放課後等デイサービス（定員 10 名）

令和8年3月31日現在

利用者契約者数 34名（男性25名・女性9名）

・児童発達支援 幼稚園・保育園 年長 4名
（男児3名・女児・1 名）

・放課後等デイサービス 計23名
（男児・18名・女児・5名）

高等部・・・3名 中学部・・・9名 小学部・・・11名

・日中一時 計7名
（男性・ 4名（放課後等デイサービスも併用している利用児・3名）
女性・3名）

事業別利用実績

月		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数		24	24	23	25	23	23	23	21	23	22	21	22	274
契約者 数合計	放デ イ	21	21	21	21	21	21	21	21	22	22	23	23	34 名
	児発	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	4	
	日中 一時	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	7	7	
利用実績		141	154	159	164	137	139	151	122	156	147	134	163	1767
欠席時対応加算		4	5	4	2	3	8	8	5	13	8	10	5	75
稼働率(%)		58.8	64.2	69.1	65.6	59.6	60.4	65.7	58.0	67.8	66.8	63.8	74.1	64.5

年間延べ開所日数 :274 日 延べ利用者数:1767人

目標利用者稼働率:70%以上を維持する

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

- ・「安全」の部分で、屋外において突発的に職員の手を離れて走りだしたりする場面があり、事故・怪我の可能性も多くあり、屋外での手をつないで行動が必要である。
（児童が多い場合等、危険と思われるときは川喜田邸の前に停車させてもらい

- (後方・前方に車がないことを確認し) ドア to ドアで対応していく)
- ・「親の視点」という部分で、面談の機会はあるが、まだまだ個々に応じた対応で見えていない部分も多い
 - ・「将来に向けて」の部分では、通所事業所の体験(春休み・短縮授業等)、見学など行うことができた。またそれぞれの通所事業所で行われている作業に近い課題を行い、これから先につなげられたらと思う。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

- ・3月:四日市プラネタリウム見学
- ・隔週土曜日・日曜日 開所日には調理実習、レクリエーション、公園等散歩を行う。

4. 職員研修

- 11月:保護者と合同研修(四日市北消防署による普通救命講習)
保護者4名 職員 参加
- 4月・12月:安全運転研修(自宅児童送迎ルート再確認・危険個所周知・送迎マニュアル確認・事故を起こした時の対応確認)
- 7月・9月・2月:虐待防止研修(「通報」「性的虐待」「子ども性犯罪防止法含む」)、「身体的虐待」(身体拘束)
- 10月・2月:事業所内危険個所再確認・荷物忘れ防止

5. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

- ・ボランティアの受け入れ(2名):主に歌遊びのボランティア
- 2月:2回
- 3月:3回

6. 防災及び感染症対策の実績について

- 6月・11月:感染症マニュアル確認・感染対策(防護服着脱)・手洗いチェック)・嘔吐物処理
- 9月・12月:避難訓練(地震・火災・不審者対応)

7. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

- 保護者会:令和7年4月30日
- 保護者参加者:8名参加

- ・コフレ自己評価等報告
- ・災害時対策等のマニュアル報告
- ・座談会

ヒヤリハット

- ・駐車場等で職員が児童の手を離してしまい、一人で道路等に飛び出し
9 件
- ・異食、他の児童のおやつ等を食べようとしたり、食べてしまう
4件
- ・児童の不調により、他者や物への影響が出てしまった 7件
- ・社用車を走行中、児童がシートベルトを外してしまう 2 件
- ・自宅へ送り届ける際、荷物の渡し忘れ 3 件
- ・児童の物の紛失 2 件
- ・児童のお迎え忘れ 2 件

保護者等からのご意見

【児童保護者より】

- ・事業所の入り口が開けっ放しにしていると危険と思われるため、鍵をかけてもらいたい
- ・ジュニアシートを乗せずに児童を乗車させているため、ジュニアシートに乗車させてほしい
- ・道路の飛び出しは事故・怪我につながるため、道路等では必ず職員と手をつないで行動してもらいたい。
- ・宿題が出ているが、事業所で行ってもらっていないときもあるため、行ってもらいたい。
- ・物の紛失につながるため、次の行動に移すときは、物を片付けてから次の活動に移してもらいたい。